



新年の準備に向けて

プリザーブドフラワー教室 (12月6日)



いがまち公民館で、公民館教室「ア・ラ・カルト」を行いました。この教室では、寄せ植えやパン作りなど毎回さまざまなことを行っています。

今回は、お正月に向けてのプリザーブドフラワー作りを行いました。黒い盆に貼り付けた注連縄しめなわの中央に菊やバラなどの花と和柄の玉を付けた針金などを飾り付けました。参加した人は、「楽しかった。お正月には家の中に飾りたいです。」と話していました。



▲参加者はグループに分かれて作業に取り組み、個性あふれる作品が完成しました。

命の大切さを考えました

人権を考える市民の集い 2016 (12月4日)

伊賀市文化会館で人権を考える市民の集い 2016 を行いました。

第1部では、人権作品の表彰式や作文部門で市長賞を受賞した2人による作文の朗読などがありました。



▲作文を朗読する市長賞の受賞者

第2部では、全国でライブ活動を行う福島県いわき市出身の2人組、HILL STONE が「音楽の力～みんなで繋げよう明日へ～」をテーマに、東日本大震災の被災地の現状や被災者との交流を通して感じたことなどを、歌と言葉で訪れた人に伝えました。



▲HILL STONE の2人の優しい歌声が会場を包み込みました。



▲ポスター・標語・作文部門の入賞者を岡本市長が表彰しました。



▲パステルの粉末で絵を描く体験をする子どもたち



▲料理教室で、バナナの種類や特徴について説明する講師

つながりを深めて心豊かに

伊賀オーガニックフェスタ (12月11日)

伊賀市農業公園で、今年で9回目を迎える伊賀オーガニックフェスタが開催されました。

屋外の会場では、有機野菜などの農産物・加工品・雑貨・飲食物などを販売する出店が立ち並び、多くの人でにぎわいました。

また、屋内の会場では、バードコール作りなどの体験教室、オーガニックバナナや冬野菜の話とそれらを使った料理教室が行われ、参加した人は楽しそうに取り組んでいました。



▶個性豊かな出店を興味深そうにまわる人の姿がみられました。

有料広告を募集します

広報いが市への広告を募集しています。広報いが市は、市内の各戸へ配布するほか、市ホームページにも掲載します。

【発行部数】約36,000部

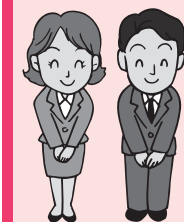
【掲載料】1枠…2万円

(縦5cm×横9cm)

【申込期限】発行日2カ月前

【問い合わせ】広聴情報課

☎ 22・96366





お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など

忍者列車の魅力アップ

忍者列車木育トレイン出発式 (12月11日)



▲テープカットの様子

伊賀鉄道 上野市駅で忍者列車木育トレイン出発式が行われました。

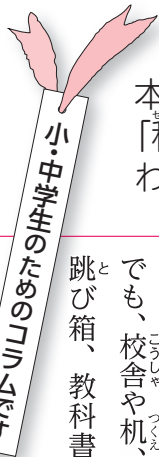
この木育トレインは、伊賀鉄道で運行されている忍者列車のさらなる魅力向上を図るため、「みえ森と緑の県民税」を活用して列車内を木質化したものです。

出発式では、テープカットやくす玉割りが行われ、鈴木英敬三重県知事の「出発よし」のかけ声で列車が出発しました。

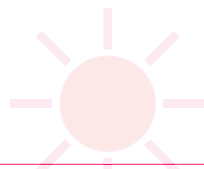


◀木製のつり革。手裏剣のデザイン選定に上野高等学校の生徒が協力しました。

▶車内の壁やひじかけ、つり革などには、三重県産の木材がふんだんに使用されています。



本紙 6～8 ページの「税の申告」について、わかりやすく解説します。



こども広場 「大切な税金」

年に1回、税務署に税金の額を伝えます

みなさんは、「確定申告」という言葉を聞いたことがありますか。確定申告とは、一年間の収入からかかった経費を引いたお金(所得)とそれにかかる税金の額を税務署に伝える(申告する)ことです。

会社で働いている人は、会社がまとめて税務署に伝えてくれますが、中には自分で申告しなければならぬ人もいます。

税金は生活に必要なことなどに使われます

税金は、みなさんが生活する上で必要な道路の整備やごみの収集、また、子育てや介護の支援、救急車の利用など、みんなで支え合う活動などを行うために使われています。

ほかに、警察署や消防署、公立病院を運営したり、みなさんが通う学校でも、校舎や机、いす、理科の実験道具、跳び箱、教科書などにも税金が使われています。税金は安

全・安心な暮らしを支えるためにみんなで出し合う「社会の会費」といえます。

公共サービスは 支え合いで成り立っています

もし税金がないと、子育てや介護、医療、水道・道路などの整備、教育、警察、消防といったさまざまな公共サービスができなくなってしまう。病院で支払う治療費も今より高くなりますし、公園や学校の遊具なども整備されなくなってしまう。みなさんが使っている教科書も自分で買わなくてはいけなくなります。

公共サービスは、私たちの暮らしに欠かせないものです。これらを安定して運営していくにはお金がかかります。お互いに支え合い、共によりよい社会を作っていくため、この費用をみんなで分かち合うことが必要です。

なるほど！
みんなも
わかったかな？



▲行政情報番組の「こども広場」に出演するのちゃん

【問い合わせ】 課税課

☎ 22・9613 FAX 22・9618